基本的方向7

歴史・文化資源、豊かな自然 の継承と活用

施策 27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用

施策 28 歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成

【基本的方向7と関連するSDGs】



各

基本的方向7

佐野市の誇る歴史・文化資源や豊かな自然を保存・活用し、 郷土への愛情と誇りを育みます。

論

基本的方向7

施策 27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用

◇現状と課題◇

文化財は長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。また、我が国や各地域の歴史や文化の理解のために不可欠なものであり、将来の文化向上の基礎となるものでもあります。このため文化財を適切に保存し未来に伝えていくことは極めて重要なことです。平成31(2019)年4月に文化財保護法の一部が改正され、文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財行政の推進力の強化を図ることが示されました。この改正の背景には、過疎化や少子高齢化等により、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となったことがあり、文化財をまちづくりに活かすなど、地域社会全体でその継承に取り組んでいかなければならない状況になったことが挙げられます。

本市には国指定史跡である「唐沢山城跡」をはじめ「天明鋳物」「田中正造」に関する特色ある文化財が豊富に残されています。こうした貴重な文化財を次代へ継承するため、文化財の価値を見直したり新たな文化財の発見に努めたりするともに、文化財の保存修復を図りながら、文化財の活用を計画的に進めていく必要があります。

主な取組(1)文化財等の調査及び保存・継承の推進

地域の文化資源を掘り起こすとともに、指定文化財の維持管理に務め、必要に 応じた適切な保存修復を施して、次代への継承を推進していきます。

【具体的な方策】

①指定・登録文化財候補物件の調査の実施

未指定・未登録の文化資源の価値を見つめ直し、指定文化財等の増進を図ります。

②指定文化財の保存修復の推進

破損や経年劣化等により修復を要する指定文化財等の所有者を支援するなど文化財の適切な保存と継承を推進します。

③天明鋳物生産用具の国指定文化財化

を目指した取組の推進

天命鋳物伝承保存会等との連携の下、千 余年の歴史をもつとされる本市の伝統工 芸である佐野天明鋳物生産用具の国指定 文化財化を目指した取組を推進します。



施

【関連事業、会議、研修】

- 〇文化財保護審議会運営事業 〇文化財保護調査事業
- 〇指定文化財保存修復支援事業 〇天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業

(2) 唐沢山城跡等の適切な保存整備と活用の推進

国指定史跡である唐沢山城跡をはじめとする本市の貴重な文化財の適切な保 存整備と活用を推進します。

【具体的な方策】

①唐沢山城跡の適切な保存整備の推進

郷土を代表する歴史・文化資源である唐沢山城跡の適切な保存整備を推進します。

②田中正造旧宅の一般公開の支援の充実

本市の偉人である田中正造の理解促進を図るために県指定史跡である田中 正造旧宅の一般公開の支援の充実を図ります。

③「歴史文化基本構想」の策定検討

「歴史文化基本構想」に向けた文化財総合調査の計画策定を検討します。

【関連事業、会議、研修】

〇唐沢山城跡保存整備事業 〇田中正造旧宅一般公開支援事業



成果指標

成果指標	基準値	令和 2 (2020) 年度	目標値	令和 7 (2025) 年度
指定文化財の維持管理、保		43件		47件
存修復対策件数				

歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成 施策 28

◇現状と課題◇

郷土の魅力ある歴史や文化、豊かな自然環境について学んだり体験したりすることで、 人々の歴史・文化資源や自然環境への保護意識の高まりや郷土愛の醸成等をもたらすこ とが期待できます。また、その資源を活用した行事の開催やその魅力の発信をすること で、多くの人が訪れる賑わいのあるまちづくりにもつながることが期待できます。

本市では市の歴史や文化への理解促進の取組として、文化財要覧となる「佐野市の文 化財」を作成したり、郷土博物館、葛生化石館、葛生伝承館において各種講座や企画展 を開催したりしています。また、唐沢山城跡が国指定史跡となってからは、フォーラム をはじめ、史跡化記念企画展、講演会、シンポジウム等のイベントを開催し、市内外か ら多くの方に御参加いただきました。また、子どもたちを対象とする博物館利用学習も 計画的に実施し、本市の歴史を知り、魅力を理解し、次代につなげていくことができる ように学習を進めています。更に、各学校で実施している「さの学」では、地域の歴史や 文化、豊かな自然を体感できる学習に取り組み、自分の生まれたふるさとへの愛着や誇 りを育んでいます。今後も本市の歴史・文化資源、自然環境の価値を積極的に発信し、 理解促進が図れるような取組を行うとともに、それらを活かしたまちづくりを推進して いくことが重要となっています。また、こうした歴史・文化資源に対する理解促進と合 わせて歴史文化資源を継承する人材を育成することも大切となっています。

主な取組(1)歴史・文化資源の理解促進

本市の歴史・文化資源への理解促進を図るための取組を通して、市民の歴史・ 文化資源への興味関心や文化財保護意識をより一層高めます。

【具体的な方策】

①郷土博物館、葛生化石館、葛生伝承館における企画展等の充実

佐野市の歴史や文化を身近に学ぶことができるように郷土博物館、葛生化 石館、葛生伝承館において魅力ある企画展や講演会等を開催します。

【関連事業、会議、研修】

- ○郷土博物館企画展等開設事業 ○郷土博物館講座等開設事業
- ○葛生化石館企画展等開設事業 ○葛生化石館講座等開設事業
- ○葛生伝承館企画展等開設事業
- ○葛生伝承館講座等開設事業



施





(2) ふるさとの歴史や自然に触れる機会の充実

郷土博物館などで郷土の豊かな歴史や自然に育まれた歴史・文化資源に触れる機会を創出し、本市の歴史や自然への子どもたちの興味関心を高めます。

【具体的な方策】

①博物館利用学習の充実

郷土博物館などでの体験 的な学習や出張講座等を通 して、子どもたちの博物館等 への親近感やふるさとの歴 史や自然への興味関心を高 めます。



②ふるさと学習「さの学」の推進[再掲]

【基本的方向 1】特色ある教育と心の教育の推進【施策 4】グローバル化に対応する教育の充実【主な取組】(3)伝統と文化を尊重する教育の充実 P62を参照

【関連事業、会議、研修】

- ○学校利用推進事業(郷土博物館)○出張講座、体験講座(葛生化石館)
- ○体験講座(葛生伝承館)

成果指標

成果指標	基準値 令和 2 (2020) 年度	目標値 令和 7 (2025) 年度
小・中・義務学校の学校利	2037 人	4250 人
用、出前講座での児童生徒	R2 はコロナ禍のため減少	
数		

佐野市の代表的な文化財

国指定・認定・登録文化財

[絵画] 絹本著色菜蟲譜





[史跡] 唐澤山城跡



[彫刻] 木造エラスムス立像



[工芸品] 鋳銅梅竹文透釣灯籠

